

# 第3回 あがたの森ストリートデザインワークショップ開催記録

## 1. 開催概要

### (1) 開催日時

令和7年10月1日（水） 11：00～16：15

令和7年10月13日（月・祝） 11：00～16：15



### (2) 開催場所

M ウィング（松本市中央公民館）3階会議室 3-1・3-2

### (3) 出席者

10月1日（水） 計：28名

（内訳）

- ・一般参加者：9名
- ・関係機関オブザーバー：11名
- ・事務局：8名

10月13日（月祝） 計：21名

（内訳）

- ・一般参加者：12名
- ・関係機関オブザーバー：2名
- ・事務局：7名



### (4) 次第 ※10/1、10/13ともに同じ内容で開催

#### 1. 開会

#### 2. 前回の振り返りと経過および今後の展開

#### 3. 再整備計画策定の具体化に向けての検討

<STEP 1>

テーマについて取組アイデアの書き出し

<STEP 2>

実現したい取り組みの整理・具体化

#### 4. 次回以降の予定

#### 5. 閉会



### (5) 配布資料

- ・資料1 第3回資料
- ・参考資料集（テーマ別）

## **2. 前回の振り返りと経過および今後の展開**

第3回資料及び参考資料により、事務局（KRC 小林）から、第2回までのワークを振り返り、あがたの森通りで実現したいこととして、これまでに出された意見をもとに整理した内容を確認。再整備計画の策定を念頭に第3回の位置づけとワークの趣旨を説明した。

## **3. 再整備計画策定に向けての検討**

第2回のワーク結果をふまえて設定した以下4つのテーマで、再整備計画の内容を具体化するためのワークを行った。

- 【テーマ1】 沿道の居場所（たまり場）のデザイン
- 【テーマ2】 安全で快適な通りのデザイン
- 【テーマ3】 人と場をつなぐ水と緑の関わりのデザイン
- 【テーマ4】 芸術文化を感じる通りのデザイン

ワークはテーマごとに、時間を区切りながら、下図に示すスケジュールで、午前中に1テーマ、午後3テーマで、10月1日、13日とも同じタイムスケジュールで計2回実施した。

	【テーマ1】 沿道の居場所 (たまり場) の デザイン	【テーマ2】 安全で快適な 通りのデザイン	【テーマ3】 人と場をつなぐ 水と緑の関わりの デザイン	【テーマ4】 芸術文化を感じる 通りのデザイン
前回までの振り返り	11：00～11：05 (5分)	13：30～13：35 (5分)	14：30～14：35 (5分)	15：30～15：35 (5分)
【STEP 1】 各テーマについて 取組のアイデアを考えよう	11：05～11：15 (10分)	13：35～13：45 (10分)	14：35～14：45 (10分)	15：35～15：45 (10分)
【STEP 2】 実現したい取組内容を 整理しよう	11：15～11：40 (25分)	13：45～14：10 (25分)	14：45～15：10 (25分)	15：45～16：10 (25分)
まとめ・終了	11：40～11：45 (5分)	14：10～14：15 (5分)	15：10～15：15 (5分)	16：10～16：15 (5分)

## 1) ワークの概要

### <STEP 1>各テーマについて取組のアイデアを考えよう

実現したい場所（シーン）の写真等を「参考資料集」に整理した「参考資料集」を参照しながら、あがたの森通りで実現したいことについて、(1) どこで (2) どんなことをしたい・何をつくりたい (3) 実現する際の課題・必要なこと、について、各自付せんに書き出し、「STEP 1 あがたの森通りで実現したいことの取組アイデア整理シート」に貼り付け、整理した。

第3回あがたの森ストリートデザインワークショップ

**STEP 1 あがたの森通りで実現したいことの取組アイデア整理シート**

(1)どこで 参考資料集の番号もしくは 具体的な場所を直接記入	(2)どんなことをしたい・何をつくりたい ※できるだけ具体的に書き出してください	(3)実現に向けた課題・必要なこと ※できるだけ具体的に書き出してください
【氏名】 _____ 【開催日】 : 10/1・10/13 【テーマ】 1・2・3・4		

STEP 1 シート (A3 判ヨコ)

## <STEP 2>各テーマで実現したい取組を整理しよう

各班の担当の進行で、STEP 1 で各自が付せんに書き出した意見を共有し、STEP 2 シートの地図で位置を確認しながら、余白に意見を分類・整理した。



STEP 2 意見整理用紙 (A0 判ヨコ)

## 2) ワークの意見整理

STEP 2 で出された意見を、10月1日、13日の両日分を合わせてテーマごとに集約・整理し、各テーマで通り全体に関する意見と特定の場所に関する意見に分けて、5～14ページにまとめた。

- 【テーマ1】「沿道の居場所（たまり場）のデザイン」 実現したい取組意見の整理 … 5～7ページ
- 【テーマ2】「安全で快適な通りのデザイン」 実現したい取組意見の整理 ……………… 8～10ページ
- 【テーマ3】「人と場をつなぐ水と緑の関わりのデザイン 実現したい取組意見の整理 ……… 11, 12ページ
- 【テーマ4】「芸術文化を感じる通りのデザイン」 実現したい取組意見の整理 ……… 13, 14ページ

# 【テーマ1】「沿道の居場所（たまり場）のデザイン」実現したい取組意見の整理

## 実現したいこと・取組

## 実現するための課題・必要なこと

### 通り全体

#### ■沿道スペースの活用

- 改めて「街場のえんがわ作戦（コロナ禍に松本市が沿道飲食店等による路上の利活用を支援した措置）」を実施（今はほこみち制度を活用し、個人事業主が沿道事業者を巻き込んでやりやすいように）
- 飲食店のオープンテラス設置
- オープンテラス、オープンカフェの設置（日常化）から、日常活動の延長線上にイベント
- グランドレベルの活用（例：「33GAKU(ザサンガク)」NTT東日本ビル）  
→グランドフロアと通りとのつながり
- 誰でも仮専有できる、ソシオペタル（人々が自然に集まり、交流しやすくなるような空間構成）な場
- 街角のスポットを活かしたジャスマフェスティバル（仙台）のような、通り全体のイベント

#### ■歩くきっかけづくり

- オープンスペースのイベント+ファニチャー（例：仙台のストリートジャズフェスティバル=通り全体を歩きたくなる）ベンチ+植栽（屋根つき）
- 街全体（あがたの森通りを中心に）を歩き回れるマルシェやスタンプラリー
- アプリやQRコードを活用してマップ、まちの情報、歴史などを伝える案内、仕掛けづくり
- 企画、参加者を募る 人が自由に入れる屋内施設をオープンスペースまわりに設置
- 木陰と影を増やして歩きやすくするため、木立の剪定のやり方を調整したい

#### ■立ち止まれる場

- 歩くレーン、たまるレーンを区分けして設置
- 立ち止まれる・座れる場所+日を除けられる樹木との組み合わせ

#### ■レインガーデン

- レインガーデン、ロックガーデン、多様な樹木と組み合わせて導入、遊歩道としても活用

#### ■横道の活用

- 横道ナビゲートがあると面白い
- あがたの森通りは駅からふらっと歩く人が多い→松本のまち全体（あがたの森～浅間温泉？）のマップが見られる場（案内人が常駐？）イベントカレンダー、史跡だけでなく民間の施設や飲食店などの紹介
- ちょっとした掲示板、看板を設置  
例）日の出町方向を案内する

#### ■店舗の開口部

- 沿道店舗等が通りに対して開かれている空間になるようにしたい

#### ■デザインコード

- ファサード（建物正面の外観）にある程度のデザインのルールを設けることで、周りの統一性を担保したうえで、屋外の使い方や店舗での個性を強化

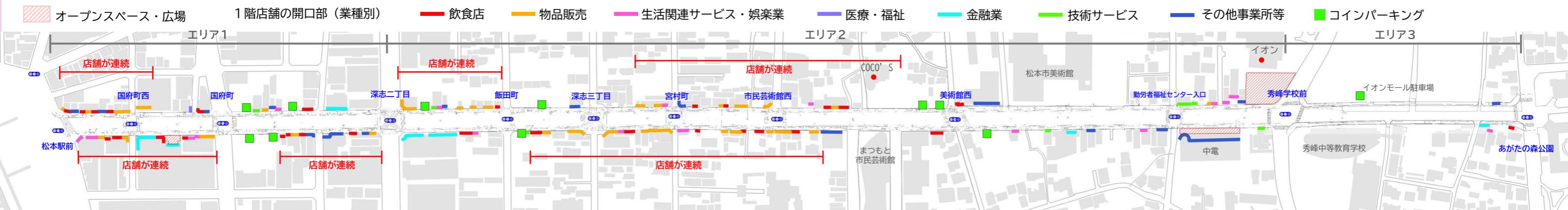
#### ■駐車場の活用

- かくれたマスコットを探せるような、遊び心のある仕組みづくり

#### ■バス停の活用

- バス停をちょっと休めるステーション的な利用ができるように工夫  
→給水スポット、屋根付きベンチなど

【沿道のオープンスペース・広場と沿道建物の1階店舗の業種及び開口部の状況】



#### ■沿道スペースの活用

- 「街場のえんがわ作戦」には旗振り役とプラットフォームづくり（実行委？）が必要

#### ■歩くきっかけづくり

- 芸術や美術運動は費用、権利的に難しい？

#### ■立ち止まれる場

- 歩道の拡張？ 日よけとなる高木整備

#### ■横道の活用

- 観光客がどんな情報をもとに来ているか分析、知る

## 特定の場所-1

### ④国府町交差点付近ポケットパーク

- 木陰とベンチを増やす（中町通り東端のポケットパークが好例）
- 元町パークレットのようなコニファーを植栽（管理も楽、常緑で種類により多様な緑色を提供できる）
- 植物（ストリートファニチャー）での統一感
- 背を向けるように（内向きに）座る連続したベンチ。東京ではダメだけど松本ならできる感じがいい。
- イベント開催

### ⑤ファミリーマート前のオープンスペース

- 敷地の一部をポケットパークのように整備
- ピロティの活用
- ベンチ、コンテナの設置

### ③昭和ビル前のオープンスペース

- 敷地の一部をポケットパークのように整備
- 昭和ビル前の有効活用
- ベンチ（県産材使用）の設置
- フェンスのない開放感あるスペースに机とイス（シーン③-4のような）
- 人工芝を置いて子どもたちが遊べる空間へ
- 塩尻市のえんてらす（支所、公民館、図書館、子育て支援センターを備えた複合施設）にある広い芝生広場は親子連れの利用も多い
- 子どもの遊び場（事例の「池袋リビングループ」のような）
- 中心地としての利用（イベント、休めるベンチ、マルシェ、ライブ）
- 昔はワールドバザール年2回開催。振興組合を通してやっていた。現在は11/3に少しイベントを開催。

### ②中部電力ビル前のオープンスペース

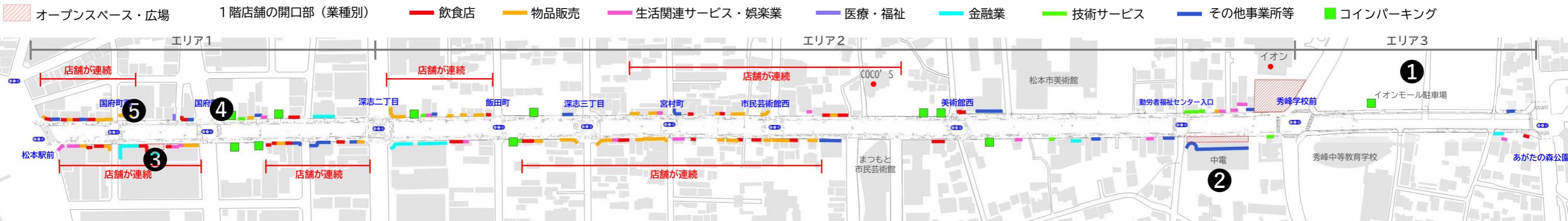
- 敷地の一部をポケットパークのように整備（願わくばビルのグランドフロアを通りと一体として開きたい）
- 人の見える空間づくり→可能ならカフェとして利用、高校生の居場所など、ビル裏に広い駐車場もある
- ビル裏の駐車場をピックアップの場として活用
- ベンチ・ポケットパーク的な場としての活用
- イベント活用
- 街路樹（鳥が来にくい低木～樹高2m）の復活
- 塞がれた植栽枠の有効活用、追加植栽
- スマートチーム（小商い）で小回りがきく活用

### ①イオンモール松本 青空駐車場

- 駐車場の一部をポケットパーク（芝を張るなど）に整備
- イオンの駐車場まわり全部芝生にしてもいい（フェンス外して）
- 歩道と駐車場の間に植栽のワンクッションがほしい（フェンスは取り扱う）
- 駐車場側が殺風景なため、花壇、植栽等であがたの森と沿道をつなぐ役割を
- フェンスにハンギングバスケット装飾（単発でもOK）
- 通りにベンチ+樹木（屋根）
- 歩道と一体の空間、平らな部分の活用
- たまりの部分とそうでない部分のメリハリをつけた空間づくり
- 多様な植栽があるガーデン（松本との関わりがわかる種類）
- 木の紹介（樹名板）、あがたの森へつながっていく緑→樹高2～3m程度のヒューマンスケールでたくさん植えられているイメージ
- 美術館や芸術館との連動したデザイン

## 実現したいこと・取組

## 【沿道のオープンスペース・広場と沿道建物の1階店舗の業種及び開口部の状況】



### ④国府町交差点付近ポケットパーク

- 行政との連携
- 構造物、イス
- 歩道から目にとまりやすい場所へ

### ⑤ファミリーマート前のオープンスペース

- ビルオーナーとの協議と協働が不可欠

### ③昭和ビル前のオープンスペース

- ビルオーナーとの協議と協働が不可欠
- チェーンボラードにバリアを感じる
- タリーズがなくなりベンチもなくなった、テラスの風景の消失

### ②中部電力ビル前のオープンスペース

- 中電との協議と協働が不可欠
- 企業の空エリア使用できるか
- 一階部分が暗い
- 管理しやすい花木の選択

### ①イオンモール松本 青空駐車場

- イオンモールとの協働が不可欠
- 駐車場側、イオンモールの維持・管理体制
- 管理の問題・照明デザイン→高校生や住民を巻き込んでできると良い
- 雑草が生えているため管理が大変である
- ハンギングバスケットの水やり、摘花等の管理（自動給水装置設置？）
- スペース使用料が必要？
- アクティビティで埋める以外の活用法の検討
- （オープンスペースとして活用する場合の）音出し（騒音？）への配慮
- 鳥の糞等の害
- 県による用地取得ができるとよい（土地所有者との交渉、協議が必要）取得できたら活用できる

## 実現するための課題・必要なこと

## 特定の場所-2

### ⑥-4まつもと市民芸術館

- まつもと市民芸術館の屋上に芝の空間があることを訴求するデザイン
- 通りから沿道の上（芸術館トップガーデン）へ入れるようになるとよい
- 芸術館のロータリー、屋根の下はイベントでは使いやすいのではないか
- （屋根付き）ロータリーがあるので活用できないか
- シアターパーク、伊東豊雄の設計思想

### ⑥-3ココス 松本源池店

- 駐車場の一部をポケットパーク（芝を張るなど）に整備

### ⑥-1松本市美術館

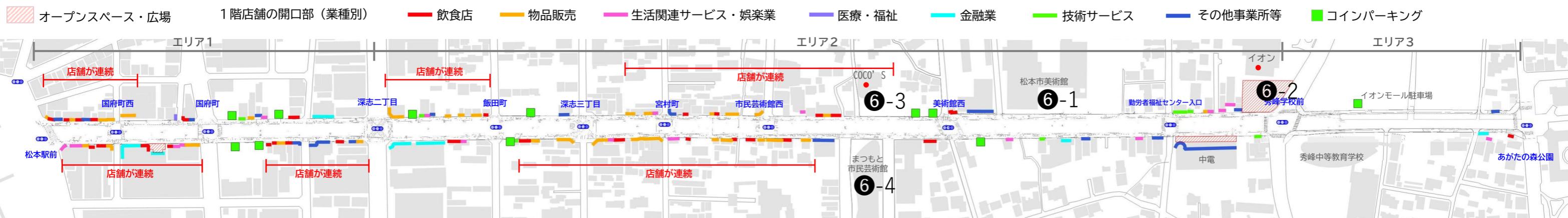
- 松本市美術館の奥に芝の空間があることを訴求するデザイン
- 通りから沿道の中・奥（美術館中庭）へ入れるようになるとよい

### ⑥-2イオンモール松本 空庭 やまびこ広場

- マルシェイベント（定期的に開催する）の数と頻度を増やす
- 第3地区の毎朝のラジオ体操など住民の活用の場へ

実現したいこと・取組

【沿道のオープンスペース・広場と沿道建物の1階店舗の業種及び開口部の状況】



### ⑥-4まつもと市民芸術館

- イベントをやっていなくても入れるのに（あまり知られていない）
- 本来の設計思想が活かされてない、もったいない

### ⑥-3ココス 松本源池店

- ココスとの協働が不可欠

### ⑥-1松本市美術館

- 案内サインの増設等に係る予算の確保

### ⑥-2イオンモール松本 空庭 やまびこ広場

- イオンとの協働が不可欠

実現するための課題・必要なこと

## 【テーマ2】「安全で快適な通りのデザイン」実現したい取組意見の整理

### 通り全体-1 ■自転車専用通行帯の安全性確保

- 車道と自転車レーンの間にポールがあれば
- 自転車レーンとの境界は縁石、生垣をやめてポールで仕切る（低木自体が必要なのか？）
- 歩行者、自転車使用者が怖いと思わない道（接触する懸念）
- バス停留所を歩道側にくぼませて（バスベイ）自転車がまっすぐ進むようにする
- あがたの森から駅まで自転車通行帯を段差なく整備する（段差で横滑りし転倒する危険性がある）
- 歩道と自転車通行帯を平らにする
- 駅近エリア、自転車の通行時、車の信号と歩行者の信号、人それぞれに判断が少し違うため少し怖いときがある。何か明確な認知方法があれば迷わないと思う
- 自転車専用の信号機
- 樹木の選択、高いものは避け樹高2m目安

### 実現したいこと・取組

### ■安全性向上のための信号の工夫

- 信号機青のブラインド化（ルーバーフード付き）
- 青信号にブラインド（見え過ぎないように）、見えていると車がスピードを出す
- 信号に歩行者用押しボタンがあるとよい（押すと30秒で変わる）

### ■交通のルールづくり

- 自動車、自転車、歩行者が共存できる通りへ
- 自転車にとって、車にとって、人にとって安全明確な道
- 車は別の道に迂回してほしい

### ■南北に交差する道路の幅員

- 南北の道路は幅員が狭く交通量が多い。救急車や消防車などの緊急車両の出入りが現状難しい。交差点の南北の入口を通行のしやすい形にしてほしい。

### ■歩道の傾斜、段差の改善

- 歩道の幅を広げ車道をフラットにすることで歩きやすい歩道になる
- 計画的、段階的な足元整備（予算確保、整備の優先順位を踏まえつつ、将来ビジョンをもった長期計画）
- 歩道と車道は段差をなくし、タイルや植栽で区切る
- 車いす考慮（段差、傾斜があると車いすは移動できない）
- キャリーケースの人、車いすの人が利用しやすいフラットな歩道
- 道路面をフラットに、スムーズにする カートを引きにくい（現状では路面がデコボコのため、カートを引く方が負担）
- デコボコをなしとした基本的な道路整備&傾斜

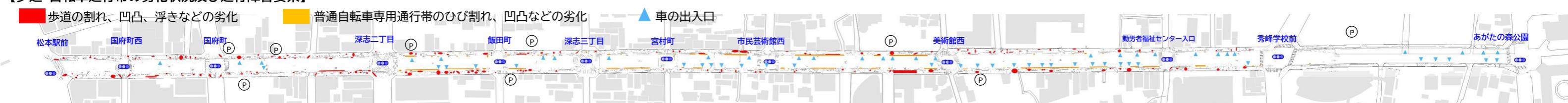
### ■歩道の幅の改善

- 傘をさしてもぶつかることがないように、ゆったりとした幅が取れればよい
- 歩道を広げるためにセットバック、その補償を
- 歩道、自転車、車、広々使いたいが広くするのは難しいから、広く見せる方法を検討する
- ペデストリアンデッキを通り全体に整備

### 【歩道の傾斜箇所】



### 【歩道・自転車通行帯の劣化状況及び通行障害要素】



### ■自転車専用通行帯の安全性確保

- 自転車の安全性確保のため、自転車レーンと車道との分離の対策が必要
- ポールはパラソルにもなるもので活用できると良い
- ポールに町の豆知識や案内を掲載する
- 自転車通行帯の安全性は確保されているのか
- 自転車専用レーンに車の駐車がされると走行上大変危険
- 警察の協力が必要
- 歩道側にも自転車レーン（歩道 ⇄ 自転車 ⇄ たまり ⇄ 自転車 ⇄ 車道）
- 自転車とバスを降りた人が接触しないようにする。自転車レーンを大きく迂回させるような形にする。
- 樹高を下げ、車の視認性を優先する

### 実現するための課題・必要なこと

### ■安全性向上のための信号の工夫

- 青信号を目掛けてスピードを上げる車を抑制するための対策が必要（あがたの森通りに交差する細い南北方向の通り、住宅地に面する通りもある）
- 信号計画、自動車社会の安全性→歩行者、沿道事業者の安全につながる

### ■交通のルールづくり

- 共通のルールづくりが必要
- マナーの徹底
- 人、自転車、車の共存の必要性はあるが優先の主体性が見えづらい
- 通りでは路駐ができない（車、自転車）が、沿道店舗でちょっとの買い物ができるようなルールがあるのもひとつ

### ■管理

- 持続可能な管理者体制

### ■歩道の傾斜、段差の改善

- 事業予算の確保
- 歩行空間における優先順位を整理し整備を検討する必要がある（劣化、破損した路面の改修、段差傾斜の解消などの歩行者の快適性向上か、雨水排水か、車の出入りしやすさか）
- 段差を小さくする、なくす

### ■歩道の幅の改善

- 全体的に幅が狭いので、もう少しゆったり歩ける幅へ

## 通り全体-2

### 実現したいこと・取組

#### ■夏の歩道の快適性確保

- 通りの南北で日射対策を（夏、冬）
- 緑陰をつくる、街路樹を整備する（グリーンインフラの視点で）
- 木かげの多いストリート 景観の向上
- 簡素なアーケード（ツタ植物のグリーンカーテン）
- 木がなくても陰となる人工物がほしい、並木（街路樹）のある通り（夏は通りを避けるようとするほど暑い→日陰がない）
- 松本は水が豊富なので、所々に水を飲めるようにする 井戸等

#### ■バス停に日除け・雨除け

- 日かけにもなるバス停のデザイン
- バス停に日除けを 真夏のバス待ちツライ
- ベビーカーの暑さ対策としてバス停での日除け（セーフティゾーン）を活用

#### ■透水性舗装、浸透施設の導入

- 浸透・貯留施設や雨庭の整備（中長期的に、計画性をもって）
- あがたの森から松本駅まで坂になっていて、豪雨のときは松本駅前に溜まるので安全性の確保をする
- あがたの森から市民芸術館の先、宮村の交差点辺りまでの歩道の被覆に、透水性舗装を使用していただきたい（ゲリラ豪雨の際に、駅前に集中的に流れ込む水量を減らすため）
- オープンスペースに浸透性のある芝生地（天然）を整備→保水性あり、景観良く、イベント時にはそのまま座れる

#### ■道路、舗装等のデザイン

- 松本の歴史が見え隠れするような独自性のある通り

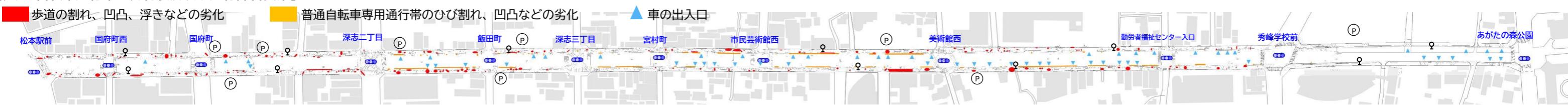
#### ■休憩所

- 通りの最奥まで歩きとなると少し遠いので休憩所となるような場所がほしい
- 日陰があって休む場所としてベンチ、木陰、屋根を配置する
- 植物の鉢などを置く場合、全体的にバランスをとる

#### 【歩道の傾斜箇所】



#### 【歩道・自転車通行帯の劣化状況及び通行障害要素】



#### ■夏の歩道の快適性確保

- 通りの南側は夏はビルの陰になり歩きやすい、一方冬は路面が凍って滑りやすい、通りの北側は夏は日陰がなく暑くて歩くのも困難だが冬は日が当たり路面も凍らず歩きやすい といった日射による歩道の状況の特性を踏まえた対策が必要
- 事業予算の確保
- 緑陰整備後の維持管理体制が必要
- 鳥害との兼ね合い→樹木剪定の工夫などが必要
- 植木が多いので、ケヤキやサクラのような枝ぶりの大きい樹種をまばらに植える

#### ■バス停に日除け・雨除け

- 歩道も覆えるように、スペースが取れないなら細長く設置。沿道の店の景観に邪魔にならないよう透明性の高い素材を使用。

#### ■透水性舗装、浸透施設の導入

- 透水性舗装の整備だけではなく歩道の再整備と一緒に実施する必要がある
- 事業予算の確保
- オープンスペースだけでなく歩道、車道にも芝生のスペースを設ける

#### ■道路、舗装等のデザイン

- 松本らしいデザインの建物、人工物がない →自分もあまり想像はできないが
- 路面を清潔に見せるような仕上げ材の工夫が必要（舗装色をアイボリーで統一など）
- 通り沿いに多数ある道路関連設備の箱をどかせないか

## 特定の場所

## 実現したいこと・取組

## 実現するための課題・必要なこと

### ①自転車専用通行帯がない区間

- 自転車専用通行帯がない区間にそれを整備する（歩道再整備と一体で。現状では植栽帯と車道の間の幅のない細い部分を通過すべきなのか、どこを通過すればよいか迷う状況）。
- 自転車レーンは延長し駅からストレートに受けたほうが利便性がよいと思う
- 自転車専用レーンの延長（深志二丁目以降急になくなる）

### ②国府町交差点付近ポケットパーク

- 雨庭はポケットパークの整備と一体で

### ③まつもと市民芸術館前

- 芸術館前は殺風景のため、少し木を植えて緑がほしい、入口にベンチもほしい。

### ④美術館・芸術館一帯の浸透性確保

- 芸術館や美術館周辺が一番水があふれやすいので集中豪雨のときに水が浸みこむ工夫が必要

### ⑤美術館西交差点

- あがたの森通りを通過する自動車の安全運転の徹底

### ⑥東電ビル前

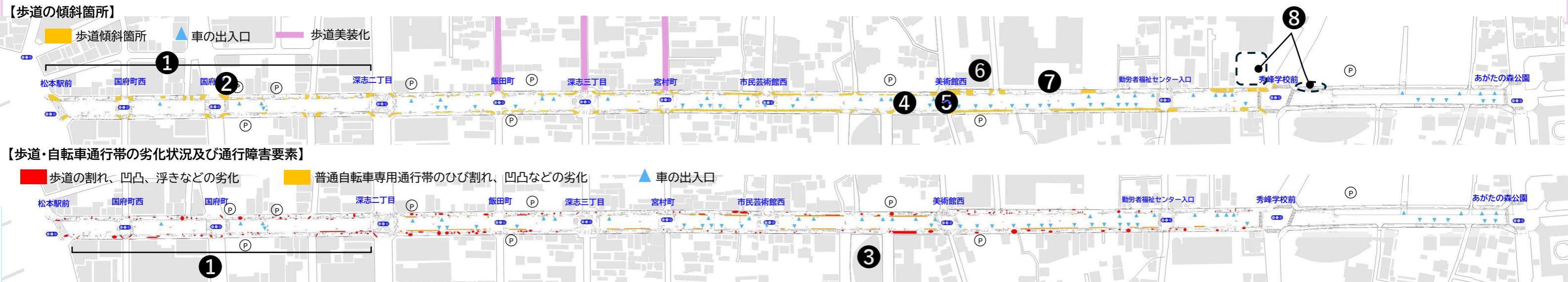
- 東電正面入口前の歩道、フラットになるとよいと思う（広い幅で一時道が下がって又上がる）のでスケボーをする若者がいる）

### ⑦松本市美術館

- 美術館前は敷地内の樹木が生い茂り通りと完全に分離してしまっているので、木を間引くとともに、水が出やすい場所であることを活かした親水空間をつくる

### ⑧秀峰学校前交差点付近

- イオンモールの空庭や鉄道給水源跡はミニパークのような場がとれたら好ましい



### ①自転車専用通行帯がない区間

- 現状の道路形態になった歴史的背景を踏まえ、整備に向けた検討する必要がある。
- 事業予算の確保
- 現在自転車同士がすれ違えず危険であり、花壇をなくすこともひとつ？
- フラットな花壇（かさ上げのない）

### ④美術館・芸術館一帯の浸透性確保

- 路盤を変える必要があるのかどうか。

### ⑤美術館西交差点

- 信号機が赤でも交差点に突っ切って進入する車があり危険（見通しが良いため手前の信号を見落としつつ先の信号を見てしまうことから起きる）
- 交差点横にパーキングができたために、パーキングを利用したい人が一方通行路に進入し危険な状況

### ⑥東電ビル前

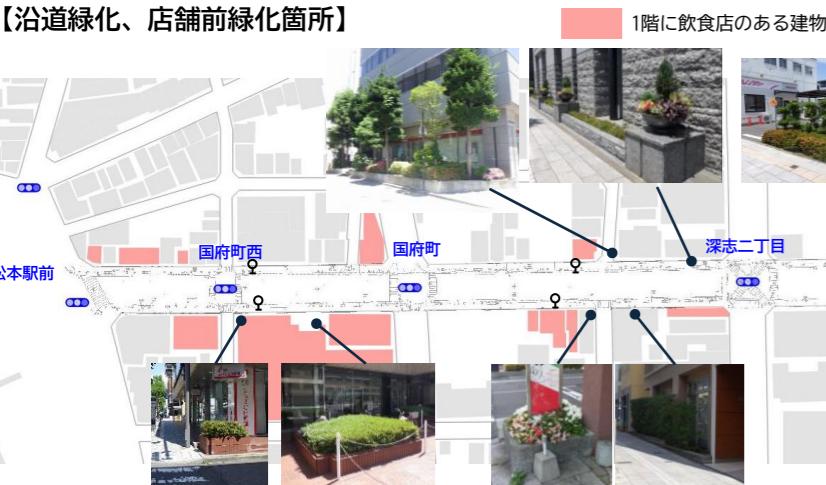
- 東電の前の歩道で夜中にスケボーをやっていて危険（イオンモール、芸術館でも過去にやっており、注意されることで場所を移動しているとみられる）

# 【テーマ3】「人と場をつなぐ緑と水の関わりのデザイン」実現したい取組意見の整理

## 通り全体-1 ■緑の連なり

- 駅前広場は花でおもてなし→あがたの森のヒマラヤ杉へ繋げていく（花→低木→中木→ヒマラヤ杉）
- 通り全体で共通のテーマをもって植栽→副次的に歩くきっかけづくりにつながる（イルミネーション装飾など）
- エリアごとの植栽とし、テーマを持たせる
- 冬場でも緑がある常緑の樹種の選定
- いろんな四季に対応したような花を咲かせるストリートガーデン
- 低木、中木の使い方を（多く）
- 高木の根元周りの緑の工夫
- グリーンカーテンで車道と自転車道、自転車道と歩道を仕切る
- 車道と歩道をフラット化→木や小さい目印で境界を分ける

### 【沿道緑化、店舗前緑化箇所】



## ■緑の連なり

- 車の視認性を最優先にする
- 予算確保が必要
- 水やりなどの維持管理→湧き水を活用して地域のボランティアでみんなで育てる取組へ
- 高木は鳥害の問題
- 高木だと手入れが大変、中木がよい

## ■沿道店舗前及び通り沿いの緑化

- 一定区間ごと、植栽・花をテーマを作って統一するのもよい（樹種、花、プランター）
- 季節ごとに植栽も変える 歩いて楽しい通り
- 店先の木と街路樹の樹種をそろえる
- 通り沿いの店に何らか緑や花を使ってもらう促し
- 各沿道店舗の個性を活かしたコンテナ/プランターの設置（を推奨）
- （希望する店舗は）店先の植栽帯の管理（アレンジ）
- 道路を邪魔しない緑となるとハンギングなども一つの方法
- フラワーコンテストをあがたの森通り沿いで開催
- ルーツグレート（街路樹や公園樹の根元を保護するための鋳鉄製蓋・保護材）松本てまりとか松本らしいデザインで
- グリーンファニチャー 緑がすける植樹枠など
- ベンチ+植栽+湧き水+グリーンカーテン →まず交通量の少ないエリアで試験導入

## ■沿道店舗前及び通り沿いの緑化

- 地元（町会等）との対話と合意形成を丁寧に
- 個店の巻き込み、統一性を強要しない
- 花いっぱい運動の仕組みの活用・見直し（発祥の地）→市民協力

- 緑の導入は道路幅の狭さを考えると無理があると思う
- 豊富な自然に囲まれた松本にあえて緑を持ち込むことよりも優先事項があると思う

## ■バス停の緑化・快適性の向上

- バス停に日除けとなる屋根がほしい
- バスペイには統一感のある緑化（ベンチ）が良いと思う
- 統一デザイン（11ヶ所もある）でバス停を緑化+ひさしを付ける
- バス停がデザインされることで、定期的な休憩ポイントになる
- バス停に藤の花（藤棚） クマンバチが来るような（生き物の生息環境）
- 日除け、雨よけになる緑のカーテン
- 城下町、松本らしいバス停（デザイン）とくに駅前
- バス停→屋根＆緑（花）のカーテン+広告枠（給水スポット）→広告枠の収入を維持管理費に回せるような仕組みづくり
- ミストシャワー付きバス停（つる植物による緑化と組み合わせ）

## ■バス停の緑化・快適性の向上

- 緑化も大切だが、安全を最優先→車の視認性
- バス停のデザインにはバス運転手の視認性の確保が必要
- バス停緑化により、開花後花が落ちてしまった時（の処理）が大変

## ■市民参加の緑化活動

- プランターはじゃまになる
- 区、町会単位での落ち葉清掃等のルール化
- 管理区分→各エリアの町内会？、植栽管理基準の設定
- 高校への協力、プログラム作りの依頼
- 花育にはイオンモールとの協働が大切

## ■市民参加の緑化活動

- （希望する店舗は）店先の植栽帯の管理（アレンジ）
- 店前に花を植えてもらうと嬉しい、店先の緑を植える事業者を増やす、行政で押し付けないインセンティブのしきみのデザイン
- 緑花（化）活動→地域の活性化、コミュニティとしての機能
- 市民、沿道事業者参加型の管理 チームを創設
- エディブルガーデン 婦人以外にも巻き込む
- 管理しやすい緑、管理したくなるような緑、春夏秋冬の彩り移ろい
- 市民で落ち葉拾いし、落ち葉をイベント等で利活用（足湯、焼き芋→あがたの森で）
- 子どもたちと一緒に維持管理→花育につながる（年中～小学生）
- 周辺の学校8校にコンテナで花を植えて管理してもらうのもありかも
- 学校が多いのでまちづくりに参加してもらう



## ■緑の連なり

- 車の視認性を最優先にする
- 予算確保が必要
- 水やりなどの維持管理→湧き水を活用して地域のボランティアでみんなで育てる取組へ
- 高木は鳥害の問題
- 高木だと手入れが大変、中木がよい

## ■沿道店舗前及び通り沿いの緑化

- 地元（町会等）との対話と合意形成を丁寧に
- 個店の巻き込み、統一性を強要しない
- 花いっぱい運動の仕組みの活用・見直し（発祥の地）→市民協力

- 緑の導入は道路幅の狭さを考えると無理があると思う
- 豊富な自然に囲まれた松本にあえて緑を持ち込むことよりも優先事項があると思う

## ■バス停の緑化・快適性の向上

- 緑化も大切だが、安全を最優先→車の視認性
- バス停のデザインにはバス運転手の視認性の確保が必要
- バス停緑化により、開花後花が落ちてしまった時（の処理）が大変

## ■市民参加の緑化活動

- プランターはじゃまになる
- 区、町会単位での落ち葉清掃等のルール化
- 管理区分→各エリアの町内会？、植栽管理基準の設定
- 高校への協力、プログラム作りの依頼
- 花育にはイオンモールとの協働が大切

## ■市民参加の緑化活動

- 高齢化 居住地として生活していない→活動人数の確保困難
- 市民団体のバラバラさ、継続性（今までやってこれたかもだけど）公営orPFI - 市民 全体を統括する責任団体組織
- 地域住民に管理を押し付けるのは無理 住民が自ら自分の街を良くしたいと思える意識改革ができる取組方が必要
- 市民が共同で管理するようなグリーン計画はスムーズにいかない
- 地元（町会等）との対話と合意形成を丁寧に
- 受け皿の運営 持続可能な仕組み作り
- 長期的な持続可能な組織 団体の育成、形成

## ■あがたの森通りの特性、活かし方

- 全世界から人が来るコンテンツある その受け皿としての整備を
- ストリートアイデンティティをつける  
上土 中町 縄手 あがたの森
- 「もっと楽しく、もっと美しく」 街の商品化、コンセプト化、シチュエーション作り
- 松本駅 ⇄ まつもと市民芸術館：国際音楽都
- 松本市美術館：草間彌生の世界
- 松本市美術館 ⇄ あがたの森：どくとるマンボウ、松高の世界

## ■鳥との共存

- 音の周波数で鳥よけ（カラス、ムクドリ）
- ツバメの巣の受け入れ
- 生き物にも愛情がわく仕掛け、ムクドリも受け入れられるような意識醸成

### 【沿道緑化、店舗前緑化箇所】



## ■鳥との共存

- 緑は鳥害を招くのでは？街が汚れる、悪臭が生じる
- ツバメの巣の下は汚れてしまう
- やってくる生き物の解説サインがあると愛着がわくかもしれない

## ■水の利活用

- 水の配置する件はその管理が伴うので工夫が必要だと思う
- 伊勢町通りはきれい
- 湧水や井戸へ誘うサインの計画→松本が水の街だと視認できる
- 湧水をもっと見える化（案内の充実・駅前にも水のまち感）
- 給水所でマイボトルに給水（井戸→別のところにある）
- 通りに等間隔にクールスポット（日除け+水飲み場）
- 湧き水を使用したミストシャワー（夏期限定）
- 給水の仕掛けづくり（マイボトル）
- （デザイン性のある）マイペットボトル購入で松本の美味しい水を飲み歩きできる仕組み

## ①松本市美術館～イオンモール

- きれいな水を活かす 親水公園的な空間（暑さ対策にも）
- 美術館前は親水公園にして広く使う
- 美術館横に空き地をつくって緑を入れる
- イオン駐車場前（トロッコ）路面列車のレンガの給水所があったことを伝える給水スポット
- 芸術館、美術館ではもっとあがたの森通りの緑化も考えてもらう

## ②新規植栽帯の植栽検討（エリア3）

- 針葉樹、コニファーの植栽→ブルー、シルバー、ライムなどカラーが豊富で維持管理が楽
- 通り全体、場のデザイン（緑の連なり）を踏まえた上で樹種選択
- 並木通りの形成
- 植える木は統一性を持たせたい、藤棚ベンチもあり
- イオンモール前の通りは木があったほうがよさそう+ベンチ
- オブジェと緑の空間 ベンチもほしい
- 通りで読書したくなるような「学」にいざなう雰囲気づくり
- 川の流れをつくる→ビオトープ化する雨の日は水を抜いて溜められるように

## ■水の利活用

- きれいな水たまり レイン（ロック）ガーデン（管理もあまりない、グリーンインフラの要素を兼ねる）
- 地下水と緑の循環 ストリートに水を持ってこれないか？

## ①松本市美術館～イオンモール

- 親水スポットとして、みんな南部公園、芳川公園に行く→あがたの森は衛生的に無理のこと
- エリア3は道路整備済の箇所である（歴史を伝えるものとして路面列車の給水所があったことを伝える給水スポットがあるとよい）

## ②新規植栽帯の植栽検討（エリア3）

- 鳥害との兼ね合い→専門家の助言
- 通り全体の中でどのように設計、計画するかを踏まえたうえでの検討が必要
- 川の流れを導入するには管理が必要。誰がやるのか。

# 【テーマ4】「芸術・文化を感じる通りのデザイン」実現したい取組意見の整理

## 通り全体-1 ■ストリートファニチャー（街灯、ベンチ等）

- 照明、街灯 新規設置は統一感、松本らしさを醸し出す
- 照明、街灯 あがたの森、美ヶ原の景観をより活かすことが必要 色彩重要（ポール）
- 街灯デザインの統一
- 影絵やプロジェクションマッピングで路上に松本の民話を投影
- 街灯にも工夫を 楽、草間彌生、岳（山をモチーフに）
- エリア毎のテーマを街灯デザインに
- アーティストが制作するベンチ、バス停の壁などを置き彩りよくする（オブジェではなく機能性のあるものを制作してもらう）工芸の五月「みづくち」のように
- 街灯もだが、ベンチやバス停（グリーンインフラの要素を加えて）にあがたの森ならではを
- 松本駅から城下町らしい風景、例えばマンホールのふたを兜にする、お城の絵タイルを道路へ回遊性向上

## ■ストリートファニチャー（案内サイン）

- 観光スポットを番号付けして全部を回らせるようにする 路上に矢印を書いて「→②」と誘導する
- 例えば「芸術館までーm」「美術館までーm」「旧制松高までーm」みたいなサインを交差点ごとに置く（駅から歩いてきて、芸術館が近くにあることがわかりにくい）
- 交差点部分のストーリー性を案内（昔、身分や職によって町が分かれていた）
- 松本ぼんぼんの楽譜を案内看板に入れる 案内サイン（上りは1番、下りは2番を掲載）
- かくれアルプちゃんを案内サイン等に入れる
- 外国語看板を増やす 英語と日本語の大きさを同じにする
- 体力づくりのため、歩くことを促すため、市民（子ども～お年寄りまで）観光客を含めてまち歩きを促すサイン（シンプルなもの）
- 松本市出身の歌人や俳人の作品による歌碑や句碑、解説サインなどを設置し、通学する高校生や観光客の目に留まるようにする→公民館のイベントでウォーキングの歌巡りや俳句巡りなどにも活用できる

## ■まちのデザイン

- 「岳」を表現するデザイン
- 素材、デザインのストーリー性を表現する（個性）
- 歴史ある街並みにふさわしい重みのあるデザインが必要
- 観光客だけでなく、地元の再認識につながるデザイン
- 3ガク都をイメージさせるデザイン
- 街の個性を出す 3ガク都
- 通りを歩くことで地元が知られる 知ることができることへ 知るほど楽しくなる
- 通りの歴史 鍛冶屋の町、商人の町→通りのデザインに取り入れる 地元愛にも繋がる
- トライアングルエリアのボトムであるあがたの森通り（松本城→松本駅→あがたの森）
- 工藝・美術、音楽・劇を近代軸、現代を感じられるまち
- 歴史文化に合わせた統一デザイン採用、エリア分け  
①駅前 ②城下町範囲 ③芸術 ④学校・文教  
or ①駅前～本町 ②本町～宮村 ③宮村～学校前 ④学校前～あがたの森

## ■芸術・文化の表現方法

- 街中にピアノを配置して自由に演奏できるようなプランもよいのでは？
- アート・音楽など小さな発表の場の点在（魅力的な場の存在を増やす）
- たまり場で路上ライブ、芸、ジャズ演奏など
- 許可制の演奏箇所をつくる、フリースペース
- 松本は樂都といわれるが主にクラシックが盛んで、さまざまなジャンルをミックスするのではないほうがよい
- ガラス張りの店舗にアートを飾る（ガラスに直接描いてもよい） 夜間の景観向上にも
- 壁面アート
- 文学への興味を誘う「言葉の展示」
- 旧町名と商都の歴史にこだわる
- まちめぐりを通して歴史を知る
- 花と緑のシンボルストリートであり、文化芸術を感じる通りであることが「松本らしさ」
- 自分の街のことをもっと知れるように

実現したいこと・取組

### 【モニュメント類・案内サイン箇所】



### 【照明灯の種類・設置箇所】



## ■ストリートファニチャー（街灯、ベンチ等）

- 予算と長期計画 地元（各町会）との合意形成
- 各町会との合意形成
- 統一感 イベント時にフラッグ等飾りやすい通りづくり
- 形だけでなく活動の息吹を感じられること（人の巻き込み）
- 工芸の歴史を大切に

## ■ストリートファニチャー（案内サイン）

- 案内サインももっと松本のカラーを出して、わかりやすいものにしていく→歩道が案内サインになるとよい
- 市民（子ども～お年寄りまで）観光客を含めてまち歩きを促すサイン（シンプルなもの）

## ■まちのデザイン

- トライアングルの他の辺にも反映させられるデザインが必要
- 山が望める景観
- (歴史文化に合わせた統一デザイン)範囲設定をする、わかりやすくデザインをする
- 歩道デザインを分ける
- 店舗デザインの統一

## ■芸術・文化の表現方法

- 音楽を常に流す
- 通り、まちのBGM、クラシック？
- 芸術文化の質を落とさないようにする工夫が必要だと思う
- 歴史がわかっているようでわかっていない
- （夜間演出）沿道のお店の協力、呼びかけ電気代 補填
- （壁面アート）治安悪く見えないか？→適切な維持管理でカバー

実現するための課題・必要なこと

### ■舗装デザインの工夫

- 舗装の一部に施設への誘導案内 文化施設へ誘導案内
- クラフトを表現するデザインをあがたの森周辺に
- 南側の歩道は芸術館まで音「楽」 オケの楽器のデザインで
- グラフィックアート 絵画の可能性 物体を置かず地面や壁などどこにでも描けてアーティストの色を出せる
- 舗装を活用した回遊性向上 例) 本町のペット屋さん
- 機能性 (歩きやすさ) 安全性の改善と一体的に

### ■舗装デザインの工夫

- デザインよりもバリアフリー
- 地元のゆかりのある素材を使った佇まい 山辺石など車道も敷石に
- どこの街とも変わらない車道のアスファルト部分を長野市の中央通りのような舗装に変える イベント等 今後は車通りを消滅する方向?

### ■イベント開催時のおがたの森通りの演出・装飾

- 非日常時だけでなく日常的に、「楽都」を表現する案内サイン (譜面のモチーフ、草間水玉)
- 伝統(工芸品)文化を案内板で伝える (松本てまり、紬、ほうきetc)
- メインのイベントはとてもよい、それに関連するイベント、演出作りを成長させる
- 音楽フェスティバルのような催しを様々、数多く行えればよいと思う
- 大学生(学生)の協力

【モニュメント類・案内サイン箇所】



【照明灯の種類・設置箇所】



### ■舗装デザインの工夫

- 誘導案内がかえって美観を損なわないか?
- 長期全体計画とそれに基づく段階的整備
- 山辺石はもう切り出しできない 石に代わる表現できないか
- 凍結しやすい環境で石畳の限界がある

### ■イベント開催時のおがたの森通りの演出・装飾

- 伝統文化→今はネット活用で不要かも?